

スマート農業イノベーション推進会議（IPCSA）の 活動内容について

令和 8 年 7 月

スマート農業イノベーション推進会議事務局

スマート農業イノベーション推進会議（IPCSA）について

- スマート農業技術活用促進法及び基本方針に基づき、スマート農業技術の開発と普及の好循環の形成を推進していくため、農業者が中心となって運営する多様なプレーヤーが参画したスマート農業イノベーション推進会議（IPCSA）※を令和7年度に設置。
- 同会議において、情報の収集・共有・発信、関係者間のマッチング、人材の育成、技術的な検討等を通じ、会員の自発的なコミュニティ形成の促進を支援。

※IPCSA : Innovation Promotion Conference for Smart Agriculture

■ IPCSAの構成員

※会員数：1708（R8.7.2時点）



■ IPCSAの運営

○ 運営委員

- （株）浅井農園 浅井 雄一郎 代表取締役【運営委員長】
（株）アグリーンハート 佐藤 拓郎 代表取締役
（株）鈴生 鈴木 貴博 代表取締役社長
（株）ファームノートデーリィプラットフォーム 平 勇人代表取締役
（株）日本農業 内藤 祥平 代表取締役CEO
（株）三浦農場 三浦 尚史 代表取締役
（株）日本総合研究所創発戦略センター 三輪 泰史 チーフスペシャリスト

○ 事務局

農水省技術政策室及び
農研機構スマート農業推進部

コミュニティ形成の推進を支援

詳細及び
入会は[こちら](#)



①情報の収集・共有・発信

- ① 専用サイトを通じて、スマート農業技術に関する情報を一元的に管理。
- ② 国内外の研究開発・実用化の動向、技術の紹介、全国各地のイベント・研修スケジュール、最新トピックや優良事例等をわかりやすく情報発信。

専用サイト

イベント・研修

- 全国各地のスマート農業関連のイベントや研修等を掲載。

イベント情報

2025年10月1日（水）～3日（金）10:00～16:00
IPCSA マatchingイベント
スマート農業タッチ&トライ2025@豊砂公園

2025年10月1日～10月3日 マatchingイベント

2025年8月22日～9月30日
【第10回データ活用アワード】～優勝賞金300万！農林水産×衛星データ“ビジネスアイデア”を求め！～

IPCSA マatchingイベント その他
スマート農業タッチ&トライ2025@豊砂公園

スマート農業タッチ&トライ2025@豊砂公園

開催日	2025年10月1日（水）～3日（金）10:00～16:00
開催場所	豊砂公園（イオンモール幕張新都心内） https://space-media.aeonmall.com/spaces/1704/event
参加料	無料
お問い合わせ先	IPCSA（スマート農業イノベーション推進会議）事務局 メール：jp_ipcsa_jimukyoku@pwc.com 電話：050-1724-2916

技術情報

- スマート農業技術や関連サービスの情報（技術スペック、価格など）を紹介。



お問い合わせ

【技術カタログ】

基本情報

法人・団体・機関名：〇〇株式会社
ウェブサイト：<https://www.>
所在地：埼玉県〇〇市
業種：機械メーカー

製品・サービス名



製品・サービス名：自動操舵トラクター
製品・サービスの概要：GPSとRTK-GNSSを高精度で連携させ、圃場内での自動直進・旋回・作業機制御を可能にする次世代型トラクターです。
対象営農類型：水田作、畑作
製品・サービスの価格：月額利用料 5,000円～（圃場規模・機能により変動）、初期導入費用 50,000円。
参照リンク：<https://www.>

スマート農業技術

開発しているスマート農業技術：
自動走行トラクター
営農類型：水田作、畑作

事業概要

取組概要：
「持続可能な農業の未来を創造する」をビジョンに掲げ、IoT技術を駆使したスマ農機および営農管理システムの開発・提供を行っています。

実績等

講師実績あり

調査

- スマート農業技術の国内外の開発・実用化の動向に関する調査結果を掲載。
- スマート農業技術の導入による経営効果に関する調査（営農類型ごとの農業者ヒアリング）結果を掲載。



【海外技術の実用化事例】

コラム・動画

- スマート農業技術に係るトピックや優良事例、スマート農業技術活用促進法に基づく計画認定の実績等を発信。
- IPCSAの機能やスマート農業技術の紹介、先進的な農業者へのインタビュー、イベントの様子等を配信。

②関係者間のマッチング

- ① 既存のイベントと連携し、**会員のニーズ等を踏まえたマッチングイベントを開催。**
- ② 会員プロフィールや事業提案が掲載可能な専用サイトを通じて、**会員間の自発的なコミュニティ形成を促進。**

マッチングイベント

- 日本最大級の農業分野の展示会「農業WEEK」と連携し、スマート農業技術の操作体験ができる「スマート農業タッチ&トライ 2025@豊砂公園」を開催。
- 「アグリビジネス創出フェア」や各地で開催される「スマート農業推進フォーラム」等のイベントとも連携。

2025年
10月1日(水)
~3日(金)
10:00~16:00

参加無料
お申し込み不要

スマート農業
タッチ&トライ
@豊砂公園

最先端の技術を搭載したスマート農業機械が
豊砂公園に集結!

目の前での実演や、操作体験、
出展者による説明・相談対応を通じ、
農業の現場に革新をもたらす技術をより身近に
知っていただくことができます。
見て、触って、動かして、
スマート農業を体験しませんか。

お問合せ
スマート農業イノベーション推進会議(IPCSA)事務局
(農研機構・農研機構水産部・PwCコンサルティング合同会社)
メール: jp_ipcsa_jimukyoku@pwc.com
TEL: 050-1724-2916

会場案内
会場内
豊砂公園

出展内容

井間農機株式会社
さなえP18
ロボット田植え機(有人監視型)
ロボット田植え機「さなえ」は有人監視下において無人で田植え作業を行います。耕起から田植えまで一括で行えます。

株式会社スリーエス
スマート水管理
水田の水位や水温を計測し、自動で灌漑を行い、水管理の省力化と生産向上を実現します。

株式会社スリーエス
農業用ドローン「FLIGHT-AG」
FLIGHT-AGは、自律飛行機能で、高度な農業用ドローンで、安心の国内生産、アフターサポート体制も万全です。

千葉市・グリーン株式会社
e-kakashi
農業データと気象・生育データを組み合わせ、AIが分析した結果を提供する「e-kakashi」は、農家の経営に、基づく意思決定を支援し、稲作から増収増産を実現します。

千葉市・東京ドローン株式会社
ヘリオスグリ
農と空のスマートドローンにより、農作業の効率化と省力化を実現します。

株式会社Doog-スズキ株式会社
サウザークロス
Doogのサウザークロスの電動モーター、ベースユニットで簡単に組み立てられるロボット「サウザークロス」を開発しています。

公益社団法人 日本農業法人協会
九条ねむの夜むき体験
2025年2月28日(月)1日(火)両日イベントに出席する農業法人と、連携する農業法人の経験を紹介いたします。

ハカルプラス株式会社
非破壊植物診断装置「センサ・Folios」
葉をセンサで検出し、7秒で葉内クロロフィル濃度を表示、植物の健康状態を把握することができます。

フィールドクロス株式会社
スマートグラス「InfoLinker3」
スマートグラス「InfoLinker3」は、農家の作業状況、ディスプレイで作業を確認しながら、通話やリアルタイムに情報を提供します。

株式会社ユニック
ユニモーターモーター
ユニモーター モーターは、カメラ機能で、農家の作業状況を確認しながら、通話やリアルタイムに情報を提供します。

ヤマハ発動機株式会社
DIAPASON CS80
軽便で手軽な、多様な作業環境での作業に適した、スマートな、新しい作業環境を実現する2人乗り電動モーターです。

専用サイト

- 会員プロフィール（取組概要、技術・サービス内容、実績・成果、マッチング希望等）や事業提案・情報提供のページを通じて、会員間の自発的な交流を促進。

お問い合わせ

【会員プロフィール】

基本情報
法人・団体・機関名: ○○株式会社
ウェブサイト: <https://www.>.....
所在地: 埼玉県○○市
業種: 機械メーカー

スマート農業技術
開発しているスマート農業技術:
自動走行トラクター
営農類型: 水田作、畑作

事業概要
取組概要:
「持続可能な農業の未来を創造する」をビジョンに掲げ、IoT技術を駆使したスマート農業および営農管理システムの開発・提供を行っています。

製品・サービス名

製品・サービス名: 自動操舵トラクター
製品・サービスの概要: GPSとRTK-GNSSを高精度で連携させ、圃場内での自動直進・旋回・作業機制御を可能にする次世代型トラクターです。
対象営農類型: 水田作、畑作
製品・サービスの価格: 月額利用料 5,000円~ (圃場規模・機能により変動)、初期導入費用 50,000円。
参照リンク: <https://www.>.....

実績等
講師実績あり

導入コストや効果の詳細を知りたい

生産者

自動収穫ロボットの試作機を現場で試したい。

研究機関

ステータス: 公開済み

【事業提案・情報提供】

共同研究先募集！圃場貸し出します！

〇〇〇〇株式会社/〇〇〇〇部署

業種
農業法人

事業概要
青森でリンゴを栽培しています。最新技術を試たく、自動草刈機や収穫ロボット等の共同研究先を募集しています。

必須スキル
圃場に合わせた機械の調整ができる方

関連資料
関連資料〇〇〇〇

【参考】会員限定ページの機能

- 会員限定ページでは、①会員プロフィール情報掲載、②気になる会員の検索・お問い合わせ、③マッチング度の高い会員のサジェスト、④事業提案募集の機能を備えており、全国各地のIPCSA会員に対する情報発信やマッチングが可能。

会員プロフィール情報掲載・検索によるマッチング

活用例①

果樹で使える機械・技術を探してみよう！

会員検索・会員一覧から「カタログ検索」をクリック

会員検索・会員一覧から「カタログ検索」をクリック

画面下の検索結果を確認。各企業等の「製品・サービス」をチェック

事業提案募集によるマッチング

活用例③

一緒にこんな事業やりませんか？

事業提案タブの「新規投稿」をクリック
必要事項記載のうえ、「登録」をクリック

活用例②

スマート農業について講演ができる方を探したい！

会員検索・会員一覧から「詳細検索」をクリック

検索条件「〇〇から探す」から「実績等」→スマート農業関係の講師をチェックして「検索する」をクリック

画面下の検索結果を確認
企業プロフィール下から「お問い合わせ」をクリック

活用例④

いい投稿がある！この事業提案に応募したいな

事業提案タブの「事業提案一覧」をクリック
気になる提案をクリック

事業提案タブの詳細をチェック
気になる事業提案があれば「応募する」をクリック

③人材の育成

- ① スマート農業技術を使いこなし、経営改善に取り組むことができる人材を育成するため、**IPCSA独自のモデル的な研修を実施し、研修内容を広く発信。**
- ② 専用サイトを通じて、**全国各地の研修情報の整理・提供。**

令和7年度企画

- スマート農業技術の概況や経営基礎の学習から、個別事例の比較検証を通じた地域（自身）の課題分析やそれに応じた経営計画の作成、さらに有識者等との議論を通じた経営計画の改善までを実施。
- 研修内容や資料、成果等は専用サイトに共有し、全国各地の研修企画者等が参考素材として活用。

専用サイト

- 会員プロフィールを通じて、講師や技術指導等の実績を検索でき、必要な人材を紹介。

【氏名】●●（株）
【業種】畑作、露地野菜
【取組】農業散布サービス（ドローン）
【実績・PR】**農業支援サービス（人材供給）**

サービス
事業者

【氏名】●●農園
【業種】農業法人
【取組】水稻を栽培。年に2回産地内の生産者を集め、実習会を実施。
【実績・PR】**技術指導等**

農業者

【法人・団体名】●●
【業種】ソフトウェア事業
【取組】営農管理システムを開発
【実績・PR】**講師実績あり**

メーカー

人材を紹介します！



事務局

スマート農業を“**使いこなす力**”で経営を変えよう

オンライン開催(ZOOM)

スマート農業経営セミナー

スマート農業技術の選定・活用・指導方法を、先進農家事例と実践的ワークを通じて身につける2日間のオンライン研修です。

参加費 無料 (要申込)

1日目 2025年12月22日(月) 13:00-17:15
2日目 2026年1月30日(金) 13:00-16:00

※上記日程の研修に必ず参加をお願いします。

先行事業者の成功/失敗例から学ぶ導入判断のポイント

地域での技術普及に役立つ事例紹介

講師からのアドバイスレポートを受講ごとに個別に提示

導入して終わりにしない！儲かるスマート農業の設計図

- ・スマート農業を取り入れたいけれど、経営面で効果が出るのが不安
- ・スマート農業を取り入れた経営計画に、客観的なアドバイスがほしい
- ・スマート農業について、地域でどんな普及活動がすばいのかを知りたい

対象 IPSCSA会員 農業者・普及組織の関係者を想定

申し込み方法

2次送付コードを読み込んで、お申し込みをお願いします。

※IPSCSA会員の右のQRコードより登録後に申し込みください

※本研修では、Googleスプレッドシート(Google社のオンライン表計算ツール)を使用します。以下の条件を満たす環境での参加をお願いします。

- ・Googleスプレッドシートがセキュリティ上の理由でアクセス禁止されていない環境が必要です。
- ・Google Chrome等の最新ブラウザが必要です。
- ・GoogleアカウントでGoogleサービス(Online、スプレッドシート等)へのアクセスが制限されていない場合があります。その場合は、個人のPCでアクセスできる環境をご用意ください。

主催 IPSCSA スマート農業イノベーション推進会議

運営委託事業者: PwCコンサルティング合同会社
研修運営: 株式会社マイファーム
MAIL: ipcsa_desk@myfarm.co.jp

【1日目】12月22日 講師プロフィール

13:00～ 先進事業者のリアル事例紹介
講師: 株式会社鈴生 代表取締役 鈴木貴博氏
2008年に株式会社鈴生を設立。静岡県を中心に、レタス・枝豆・ブロッコリーなどの露地野菜等を生産し、モスバーガーなど企業からの出資を受けた8社からなるグループを管理。スマート農業技術の導入だけでなく、JGAP団体認証の取得や、農業機械シェア及び作業受託等の農業コンストラクター事業にも取り組む。

13:40～ 先進事業者のリアル事例紹介
講師: 農事組合法人 ふくどみ副代表理事・機械部長 高橋智和氏
2003年JA駿河(町)農機センター入組。2006年から土地利用型農家に雇用就業し、2016年より(農)ふくどみに専従就業。2022年に全国豆類経営改善共助会にて農機水産大賞を受賞。2019年にドローン導入。その後、自動運転、2台目の大型ドローン、ロボット田植え機、ロボットコンバイン等を導入する。普及から近隣の子供たちへスマート農業を見てもらい、現場から農業のイメージを変え、次なる農業振興のための種まきをしている。

14:30～ スマート農業の普及・育成の取組紹介「スマート農業指導士育成プログラム」
講師: 秋田県立大学生物資源科学部 アグリビジネス学科 上田賢悦教授
秋田県立大学「スマート農業指導士育成プログラム」とは、スマート農業の生産現場への導入を支援する専門人材を育成することを目的とし、秋田県立大学が令和4年度より開講している社会人向け教育プログラム。4つの学習領域で構成され、オンデマンド講義と現場実習等により学習するプログラムであり、これまで70名が受講し、67名が修了(令和7年度は24名が受講中)

15:00～ 実践ワーク スマート農業技術の導入計画作成 1/2(2日目)13:00-16:00講師も担当
講師: North Star Metric株式会社 代表 太場次一氏
デジタルハウッド大学教務長NSM代表。ビジネス教育や農業DXを専門としている。特に、農業DXと行政連携において、新規就農者研修や普及指導員研修、教育ツールの提供などで多数の実績を有す。高知県のIoT統合スーパーバイザーとしての経験を活かし、行政側の課題解決にも貢献

プログラム

1日目 ZOOM開催

- 13:00-13:40 先進事業者のリアル事例紹介
株式会社鈴生 代表取締役 鈴木貴博氏
13:40-14:30 先進事業者のリアル事例紹介
農事組合法人 ふくどみ 副代表理事・機械部長 高橋智和氏
14:30-15:00 講師
秋田県立大学 上田賢悦教授
15:00-15:40 スマート農業指導士育成プログラムの概要
秋田県立大学 上田賢悦教授
15:40-16:00 実践ワーク スマート農業技術の導入計画作成
North Star Metric株式会社 代表 太場次一氏
16:00-16:45 実践ワーク スマート農業技術の導入計画作成
North Star Metric株式会社 代表 太場次一氏

2日目 ZOOM開催

- 13:00-13:40 実践ワーク スマート農業技術の導入計画作成
North Star Metric株式会社 代表 太場次一氏
13:40-14:30 講師
秋田県立大学 上田賢悦教授
14:30-15:00 スマート農業指導士育成プログラムの概要
秋田県立大学 上田賢悦教授
15:00-15:40 実践ワーク スマート農業技術の導入計画作成
North Star Metric株式会社 代表 太場次一氏
15:40-16:00 実践ワーク スマート農業技術の導入計画作成
North Star Metric株式会社 代表 太場次一氏

主催 IPSCSA スマート農業イノベーション推進会議

運営委託事業者: PwCコンサルティング合同会社
研修運営: 株式会社マイファーム
MAIL: ipcsa_desk@myfarm.co.jp



【ドローン実演】

研修情報	研修内容	研修費用	研修期間	研修場所
研修名	スマート農業経営セミナー	無料	2日間	オンライン
研修対象	スマート農業に関心のある農業者、普及組織関係者			
研修内容	スマート農業技術の選定・活用・指導方法を、先進農家事例と実践的ワークを通じて身につける2日間のオンライン研修			
研修費用	無料			
研修期間	2日間			
研修場所	オンライン			
研修主催	IPSCSA			
研修運営	株式会社マイファーム			
研修問い合わせ先	ipcsa_desk@myfarm.co.jp			

【経営計画】

④技術的な検討

- ① スマート農業技術の活用を促進する上で対応が必要な共通課題について、**関係者で議論する場**（プラットフォーム、検討会）を設置。
- ② **農業者が先頭に立って、技術開発や普及をリード**するなど、会員が主体的に課題解決に取り組み、**IPCSA全体を活性化**。
- ③ **IPCSA運営委員の進行**の下、各プラットフォームにおける**共通課題の具体化**に向けた議論を開始。

プラットフォーム・検討会の目的

- 営農類型別・共通の課題を議論する場。活動を通じて、**農業者が先頭に立って技術開発や普及をリードする機会の創出につなげる等、農業者が主体的にIPCSAに参画し、IPCSAの各種取組を活性化**。
- 本会合の趣旨・目的に賛同する関係者を事務局が招集し実施。

